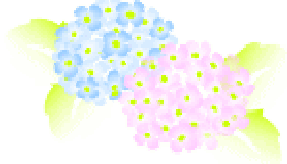


沖縄カトリック中学高等学校 学校通信 <h1>野ばら</h1> 6月号	発行 沖縄カトリック中学高等学校 〒901-2215 宜野湾市真栄原3-16-1 TEL 098-897-3300 http://www.catholic-okinawa.ed.jp/ 2011年6月1日
--	---



それぞれの光を大切に

校長 夏見 隆晴

毎朝玄関で生徒を迎え、教室を巡回しながら、できる限り一人一人に声をかけ、お互い
 がもっと知り合えたらよいのだが、と日々考えながら楽しく過ごしています。小学校、中
 学校、高等学校とほとんどの生徒が同じ学園に学び、行動を共にしているのですから、似
 てくるのは当然です。またそうあってこそ、わたしたちの日々の教育活動が、成果を上げ
 ているのだと言うこともできます。近い将来、それぞれの進学先でまた社会に出たとき、
 その生き方の根本にこのカトリック学園で獲得した精神が生かされるならば、わたしたち
 教師にとってこれほど嬉しいことはありません。

5月19日、20日に行われた中学1年生の宿泊研修に、わたしも一日だけでしたが参
 加してきました。その折、往きのバスの中での会話に耳を傾けていると、結構難しい話を
 していることに気が付きました。小学校を終えたばかりの生徒たちの興味関心の高さに、
 あらためて気づかされた次第です。そこで一人の生徒と接触を持って、いろいろな話をし
 てみました。本当にいろいろなことです。難しいことばかりではありません。たわいない
 話の方が多かったかもしれません。でも一人の人間対一人の人間として、わたしは向き合
 ったつもりです。そのためか、かれはかれにしかない良いものを、きらきらと光らせてい
 ました。今は小さな光であっても、これを大切に育てて、世の中で輝かすことができるよ
 うにしたいと願っています。

また中学3年生との触れ合いも嬉しいものでした。職員室の自席で独り昼食を摂ってい
 るわたしを見て、クラスに招いてくれました。誰の発案で実現したのか分かりませんが、
 校長を自分たちの給食に呼んでくるなどという提案をすることは、きっと勇気の要ったこ
 とでしょう。そして同時に優しさを兼ね備えた生徒たちにしかできなかった行為であった
 と考えています。そしてそれを受け入れて、大歓迎をしてくれたクラスの一人一人も内に
 それぞれの光を宿しているのです。社会に出たとき、それぞれがどのような光を放つのか
 と考えると、今から楽しみです。

5月は聖母マリアの月です。わたしたちの学校では聖母祭を教会で行い、聖母マリアの
 取り次ぎを願って、花束を捧げます。式後その花束を、普段お世話になっている近所の医
 院などにもお届けしています。その中の一人のお医者さんは、「カトリックの生徒さんか
 らいただいたお花は、わたし自身で水替えをしますよ」と言ってくれるのだそうです。
 このことも、生徒たちはすでに世の光になっていることを示しているのです。神に感謝。

歴史のボリューム

金井 哲也

今年度の平和学習の一環として、現在、階段や廊下に平和に関する様々なテーマでの調べ
 学習が展示されています。沖縄戦はもちろんのこと、第二次世界大戦やその他の戦争・社会問
 題にまでテーマを割り振り、視野を広げることとはとてもよいことだと思います。生徒達もいろいろ
 調べたり、作成に頑張っていました。

現在、私は世界史を担当させていただいていますが、常に歴史のボリュームに圧倒されっぱ
 なしです。黒板上の板書では名前と、年号と、対立する陣営を1~2行でまとめる程度の戦争に
 も、それぞれ数千から数十万の戦死者がいます。「一人殺せば殺人者だが、百万人殺せば英
 雄」というチャップリンのセリフに近い価値観が、さすがに近・現代ではありませんが、古代・中
 世では通用しています。その価値観を増減させているのは距離感や現実感、そしてそうした感
 覚を生み出す想像力でしょうか。これに自分の尺度を超えた大きなものに対する麻痺を加えて
 もいいかもしれません。私も日々の暮らしに追われる社会人として、また教員として、想像力の
 足りなさや感覚の鈍さに悔しい思いをすることが多々あります。

最近よく考えることがあります。たとえば今回の震災やそれに関する日本の動きは、日本史の
 教科書としては、世界史の教科書としてはどれくらいの扱いになるのでしょうか。その他の大き
 な出来事、例えばリーマンショックや湾岸戦争、同時多発テロ事件は？ 少し時事問題的ですが
 が、オウム真理教の事件は？ それぞれ多くの人を巻き込んだ有名な出来事ですが、やはり1
 ~2行でしょう。場合によっては教科書ではなく、資料集のデータ扱いかもしれません。こうした
 ことを思うたび、またまた歴史のボリュームに圧倒されることになります。こんな激しいことを300
 0年もやってきているのかと。教科書のボリュームにも圧倒されます。1~2行でこんなに大変な
 ことを400ページもやるのかと。

それでも歴史から単に知識を得るだけでなく、教訓を学び、教えるためにも、少なくともどこか
 を切り取って、できる限り想像し感じようとするチャレンジを忘れないようにしたいと思います。

平和ミサのご案内

6月18日(土)、8時30分より、真栄原カトリック教会にて平和ミサに与ります。特に出欠票など
 はありませんので、参加を希望される保護者の方は、6月10日までにお子様を通じて学級担任に一言
 お知らせください。駐車場は教会駐車場を予定しております。(変更がある場合には、当日立て看板が担
 当教員によって誘導いたします。)



おめでとう！

第62回沖縄陸上競技選手権大会兼国体選考会

男子	一般男子円盤	1位	宇良宗松 (37m85) [高3]
	一般男子円盤	2位	宇良宗三 (32m36) [高2]
	一般男子円盤	3位	山城大地 (24m71) [高1]
	高校男子砲丸	1位	宇良宗松 (12m81) [高3]
女子	一般女子棒高跳び	2位	雨田麻那 (1m70) [高1]
	一般女子棒高跳び	3位	山城かな子 (1m60) [高1]
	女子B (中3・高1)		
	100m	1位	佐久川まりあ (12秒95) [高1]
	一般女子400m	3位	佐久川まりあ (1分02秒92) [高1]

*大健闘！

第33回沖縄県中学校陸上選手権大会

男子	2・3年円盤	3位	マックギーダリウス [中2]
	2・3年三段跳	2位	マックギーダリウス [中2]
	2・3年ジャベリックスロー	8位	山城海晴 [中2]
女子	2・3年400m	2位	桂美貴 [中2]
	2・3年100m	4位	嘉数れいら [中2]
	ハードル		

*大健闘！

第43回西日本年令別選手権水泳競技大会

男子	個人メドレー200m	4位	二俣竣亮 (2分20秒10) [中3]
	個人メドレー400m	4位	二俣竣亮 (4分55秒73) [中3]

平成23年度県高校総体

男子	空手道 空手形	4位	棚原武蔵 [高2]
----	---------	----	-----------

*九州大会進出

平成23年度沖縄県高校総体

*下記4名の生徒は南九州大会進出決定。まだ結果の出していない種目は7月号に掲載します。

男子	砲丸投	2位	宇良宗松 [高3]
		7位	宇良宗三 [高2]
		4位	山城大地 [高1]
女子	やり投	5位	宇良宗三 [高2]
		2位	佐久川まりあ [高1]
		3位	佐久川まりあ [高1]

お知らせ

6月20日(月)から7月9日(土)の3週間、本校卒業生が教育実習を行います。
英語科・・・玉村弥李(本校2期生)

6月の行事予定

1日(水)	小高交流会(小6と高2) 沖縄キリスト教学院大学、同短期大学説明会
3日(金)	中体連総体 高校生は通常授業
4日(土)	総合 漢字検定(午後)
6日(月)	学習指導報告書配付
8日(水)	16:20下校
11日(土)	家庭学習日 英語検定 →高3は全員受検です。登校日扱いになります。
13日(月)	前期中間試験(中学生:~14日 高校生:~16日) →15日、16日は中学生は通常授業となります。
18日(土)	平和ミサ 平和学習 数学検定(午後) 保護者会レク AED講習会 ホストファミリー受け入れ説明会 沖縄国際大学説明会
22日(水)	小中交流会(小4と中3)
23日(木)	平和学習
24日(金)	慰霊の日代休
25日(土)	家庭学習日
29日(水)	16:20下校